

## 「憲法」を通じて「まなびあいの場」のつくりかたを探る！

6月14日、ユニベルシタスつくばの第7回会員総会が開催されました。総会に先立ち、昨年、彗星のように現れた謎のお笑いユニット「さとしたろか！」(実体は徳田たろう代表幹事&大野さとし幹事の凸凹コンビ)が今年も登場。開場を爆笑(苦笑?)の渦に巻き込んだ昨年とは打って変わって、最近なにかと話題の「憲法」をテーマに、ワークショップ「学びあいの場のつくりかた」を展開しました。まったく新しい国の憲法起草委員になったら?という想定で、「表現の自由」に関するオリジナル条文をつくりながら、同時に「まなびあいの場」のつくりかたについても考える——という二重構造のワークショップとなりました。その後の総会では、会員総数170名中130名(当日出席者20名、議長委任者87名、書面表決者23名)の出席者により、全議案が承認され、無事終了しました。



それぞれの「表現の自由」条文を考え、話しあいました

## 楽しく疑似体験しながら考える「みんなで防災@つくば」



シリアスなテーマだからこそ、楽しく続ける「しかけ」が必要です

5月16日、楽しみながら、災害時の生活をみんなで考えるワークショップ「みんなで防災@つくば」が開催されました。今回は、電気・ガス・水道などのライフラインが断られた場合の「あかり」と「トイレ」がテーマ。参加者が持ち寄った空き瓶とサラダ油で簡易ランタン「ほのぼのあかり」を作ったり、段ボールとゴミ袋で簡易トイレを作って出来栄を競ったりと、シリアスなテーマながら「その時」を楽しく疑似体験しました。また、災害時はさまざまな人が弱者となりうるという観点をベースに、色々な立場から多様な意見が出され、「その時、なにができるのか」をみんなで考えることができました。もしもの時はいつ起こるかわかりません。継続的にこのような場を持つことで、災害意識を高く維持することができます。「みんなで防災」、次回は10月31日を予定しております。

## ご愛聴ありがとうございました！「ユニベルラジオ」終了

足かけ6年、257回にわたって放送してきた、つくば市民大学の情報番組「ユニベルラジオ」が、6月30日の放送を持って終了しました。代表幹事・徳田と、謎の熟女DJトーゴーさん(実体はスタッフとこり)の迷コンビによる30分番組。それぞれの趣味や活動、時事問題についてあーだこーだ言うフリートーク、ブックレビュー、市民大学の講座情報などのコーナーからなる30分番組。ブックレビューコーナーで紹介した本も257冊におよび、そのうちの何冊かは市民大学のオープンライブラリーで閲覧できます。

徳田代表幹事の出張が続く時期には、なかなか時間が取れず、綱渡りの収録になることも。積み重ねてきた257回の放送は、つくば市民大学の貴重な記録となりました。長きにわたって放送枠を提供していただいたラヂオつくば様、ほんとうにありがとうございました！



収録・編集は、小さなマイクとパソコンで行いました

# 松浦幹事、おつかれさまでした！

つくば市民大学開校当初から6年にわたって幹事として運営に携わってきた松浦幹司さんが、6月末をもって退任することになりました。市民大学のシニア世代代表として、様々な企画・提言をされてきた松浦さん。今後は会員のひとりとして、市民大学を支えてくださいます。長い間、本当にありがとうございました！なお、後任には、共催講座「イマココ」などを企画されている小池容子さんが選任されました。



退任される松浦幹事と新任の小池幹事の歓送迎会にて

## 幹事退任のごあいさつ/松浦幹司

昭和12年、満州国新京市(現中国東北部長春市)で生まれ、虚弱児で医者から10年も生きていればいい方だと言われたそう。戦後の空っ腹をかかえて過ごした少年時代を経て、78歳の今がある。

市民活動の世界に足を踏み入れ、かれこれ10年になる。会社一筋の生活を終え、これからの過ごし方を模索していた時に、市民活動団体の集まりに顔を出し、この道の先輩から「市民活動は面白いよ」といわれた。その一言がスタートだった。

「茨城NPOセンター・コモンズ」の横田さんと知り合い、お誘いを受けて「つくば市民大学」に関わるようになった。3期6年の間、高齢者の居場所と出番づくりで「サロン de BOYAKI」、「市民の眼から見た海外の国ぐに」、および高齢者問題に関する勉強会をここでさせてもらった。

先輩が言った「市民活動は面白い」とはどういうことだったのだろうか。私にとっては今まで知らなかった方と出会えたことであった。ここでも多くの知己を得た。

幹事は退任しますが、これからは会員としてお世話になります。これからも宜しくお願いします。皆様、有難うございました。

## ブックレット通信販売開始！

お問い合わせが多かった、2冊のブックレットの通信販売を開始しました。遠方の方、まとめて購入されたい方、ぜひご利用くださいませ。

### 取り扱い書籍

①ファシリテーションが会議・組織・社会を変える  
徳田太郎(著) 茨城NPOセンター・コモンズ(監修)  
頒価: 800円+送料 250円

②「学びあいの場」のつくりかた  
徳田太郎(著) つくば市民大学(監修)  
頒価: 500円+送料 140円  
※複数冊ご注文の場合の送料はお問い合わせください

ご希望の方は、つくば市民大学のお問い合わせフォーム  
(<http://tsukuba-cu.net/contact.html>)から…

### 【件名】

書名(『ファシリテーションが会議・組織・社会を変える』  
または『「学びあいの場」のつくりかた』)購入希望

### 【本文】

ご希望の冊数、お届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号

を明記の上、お申し込みくださいませ。  
払込用紙を同封のうえ、ブックレットをお送りいたします。

## ユニベルラジオ・今週の一冊

この欄では、6月末に放送終了しました「ユニベルラジオ」、ブックレビューコーナーで取り上げた本をご紹介します。今後は、代表幹事・徳田の「オススメの一冊」コーナーとして連載予定です。

2015年4月7日	影山知明(著)『ゆっくり、いそげ』
2015年4月14日	横尾俊成(著)『「社会を変える」のはじめかた』
2015年4月21日	五十嵐太郎・山崎亮(編著)『3.11以後の建築』
2015年4月28日	細田高広(著)『未来は言葉でつくれる』
2015年5月5日	鷲田清一(著)『しんがりの思想』
2015年5月12日	増田寛也(著)『地方消滅』
2015年5月19日	山下祐介(著)『地方消滅の罫』
2015年5月26日	小田切徳美(著)『農山村は消滅しない』
2015年6月2日	西條剛央(著)『チームの力』
2015年6月9日	内田樹(編)『街場の憂国会議』
2015年6月16日	内田樹(編)『日本の反知性主義』
2015年6月23日	小川仁志(著)『脱持続敗戦論』
2015年6月30日	ネルソン・マンデラ(著)『自由への長い道』

### スタッフよりヒトコト

3月の学園祭、6月の総会と、2015年前半の大きなイベントが二つ終了しました。市民大学では、ミニマムサイズの講座が多いので、このように多数の会員の方が一堂に会する機会は、親睦・交流の場としてとても貴重です。普段顔を合わせない方々が同じ場を共有することにより、あらたな出会いが生まれ、まなびの場になる種がまかれます。ひとつひとつの出会いが芽を出し、育ち、いつか大輪の花が咲きますように。(とこり)

### つくば市民大学

〒305-0033 つくば市東新井 15-2 ろうきんビル 5階  
Tel: 029-828-8891 Fax: 029-828-8892  
e-mail: info@tsukuba-cu.net Twitter: @tsukuba\_cu  
web サイト・Facebook: 「つくば市民大学」で検索